

令和6年度 指定管理者事業報告概要及び評価

報告期間:令和6年4月1日～令和7年3月31日

施設名	大和ゆとりの森
指定管理者	やまとスポレク・パートナーズ
指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日

1. 事業報告概要

【業務実施状況】

・施設の総括管理及び庶務

園地	: 毎日 24 時間開場 9:00～17:00 の間に 3 回巡回 合計 1095 回実施 夜間 2 回巡回 合計 730 回実施
ふわふわドーム	: 毎日 10:00～16:00 開場 (7 月 21 日～8 月 31 日は 17:00 まで)
芝生グラウンド	: 4 月の最終金曜日の翌日から 12 月 28 日までの毎日 9:00 ～17:00 開場 (6 月 15 日～9 月 15 日は 18:00 まで) ※令和 6 年 4 月 1 日から 28 日及び令和 6 年 12 月 29 日から 令和 7 年 4 月 28 日までは芝生養生のため休場
多目的ルーム A	: 1 月 4 日から 12 月 28 日までの期間 9:00～21:00 開場
多目的ルーム B	: 1 月 4 日から 12 月 28 日までの期間 9:00～21:00 開場
男子ロッカー (仲良しプラザ)	: 1 月 4 日から 12 月 28 日までの期間 9:00～21:00 開場
女子ロッカー (仲良しプラザ)	: 1 月 4 日から 12 月 28 日までの期間 9:00～21:00 開場
男子シャワー (仲良しプラザ)	: 1 月 4 日から 12 月 28 日までの期間 9:00～21:00 開場
女子シャワー (仲良しプラザ)	: 1 月 4 日から 12 月 28 日までの期間 9:00～21:00 開場
ロッカー (スポーツハウス)	: 1 月 4 日から 12 月 28 日までの期間 9:00～21:00 開場
シャワー (スポーツハウス)	: 1 月 4 日から 12 月 28 日までの期間 9:00～21:00 開場
駐車場 (東側)	: 毎日 24 時間開場
駐車場 (南側)	: 毎日 24 時間開場
駐車場 (南側第 2)	: 毎日 24 時間開場
臨時駐車場	: 1 月 1 日から 12 月 31 日までの期間で東側及び南側駐車場、 南側第 2 駐車場が満車になった日、並びに満車になると予想 された日に開場
テニスコート	: 1 月 4 日から 12 月 28 日までの期間 9:00～21:00 開場

中規模多目的 : 専用利用 1 月 4 日から 12 月 28 日までの期間 9:00～21:00

スポーツ広場

開場

個人利用 1月4日から12月28日までの期間 9:00～17:00

開場 (6月15日～9月15日は18:00まで)

大規模多目的

: 1月4日から12月28日までの期間 9:00～21:00 開場

スポーツ広場

バーベキュー広場

: 1月4日から12月28日までの期間 1部 9:00～12:00

2部 13:00～16:00開場(7月1日～9月30日は1部 9:00～12:30

2部 13:30～17:00)

・施設利用受付及び庶務

年間利用者数

施設名称	利用数	備考
園地	116,147 人	前年度実績 134,158 人 前年度比 13.4%減少
ふわふわドーム	71,670 人	〃 75,773 人 5.4%減少
芝生グラウンド	7,880 人	〃 9,020 人 12.6%減少
多目的ルームA	5,413 人	〃 6,189 人 12.5%減少
多目的ルームB	6,444 人	〃 7,027 人 8.3%減少
男子ロッカー (仲良しプラザ)	15 人	〃 15 人 増減なし
女子ロッカー (仲良しプラザ)	5 人	〃 5 人 増減なし
男子シャワー (仲良しプラザ)	115 人	〃 73 人 57.5%増加
女子シャワー (仲良しプラザ)	42 人	〃 24 人 75.0%増加
ロッカー (スポーツハウス)	12,277 人	〃 13,312 人 7.8%減少
シャワー (スポーツハウス)	253 人	〃 217 人 16.6%増加
駐車場 (東側)	108,465 台 (大型含む)	〃 106,355 台 2%増加
駐車場 (南側)	60,642 台	〃 62,043 台 2.3%減少
駐車場 (南側第2)	21,939 台	〃 22,737 台 3.5%減少
臨時駐車場	1,851 台	〃 1,811 台 2.2%増加
テニスコート	44,098 人	〃 46,355 人

施 設 名 称	利 用 数	備 考
		4.9%減少
中規模多目的スポーツ広場 専用利用	28,759 人	〃 36,503 人 21.2%減少
中規模多目的スポーツ広場 個人利用	7,759 人	〃 7,007 人 10.7%増加
大規模多目的スポーツ広場	47,414 人	〃 37,013 人 28.1%増加
バーベキュー広場	12,394 人	〃 12,508 人 0.9%減少

・施設内清掃及び簡易な修繕

維持管理業務の実施状況

日常管理業務：年間を通じて監視業務・清掃業務（床清掃、窓拭き、園地のゴミ拾い、案内看板の拭き上げ）を実施しました。

定 期 清 掃：修景池清掃を週1回実施しました。

水 質 検 査：受水槽水質検査を年1回実施しました。

施設保守点検：遊具、ミスト、井戸ポンプ等を毎日巡回してチェックしました。

遊具の設置業者（メーカー）による点検を年1回実施しました。

ふわふわドーム点検、放送設備・I T V点検、流れ系統機器点検及び水質検査、散水装置保守点検、高圧受電機器（自家用電気工作物）定期点検、昇降機設備定期点検、自動ドア定期点検、駐車場設備定期点検（自動精算システム）管理運営、機械警備、夜間巡回等の委託業務は仕様書に基づいて実施しました。

そ の 他 管 理：年間管理計画表に基づき、花壇の植替え及び散水、施肥、草刈り（機械による刈払い作業及び手取り除草を含む）、剪定（5月、6月、7月、8月、9月、10月、12月、3月）を実施しました。

簡 易 修 繕：園内路面舗装作業、サッカーゴール修繕作業等、直営で修繕可能なものは素早く対応しました。

・事業の実施

自主事業の実施状況

No	企画内容	実施期間	人数	対象
1	母の日イベント	5月	22名	子ども
2	父の日イベント	6月	76名	子ども
3	七夕イベント	7月	85名	子ども
4	園内日よけ作成	6月～10月		一般
5	グリーンカーテン	6月～9月		一般
6	夏ぬりえ飾り	8月	141名	一般
7	水かけイベント	8月	150名	一般
8	ミモロ(ころたん)じゃんけん大会	8月	87名	一般
9	みんなで跳ぼうふわふわドーム	8月	114名	一般
10	敬老の日イベント	9月	53名	子ども
11	初心者向け硬式テニス教室	10月	10名	一般
12	たねダンゴイベント	10月～11月	90名	一般
13	ハロウィンイベント	10月	127名	一般
14	スポーツ体験イベント	11月	雨天中止	一般
15	ダンスお披露目会	11月	60名(観客120名)	一般
16	クリスマスイベント	12月	76名	一般
17	お正月遊びイベント	1月	264名	一般
18	節分イベント	2月	50名	子ども
19	ひなまつりイベント	2月～3月	55名	一般
20	無料開放日	通年		一般
21	売店	通年		一般
22	スポーツ用品貸出	通年		一般
23	園内自然情報掲示	通年		一般
24	卓球台貸出し	通年		一般
25	バーベキュー機材レンタル貸出し・販売品サービス	通年		一般
26	一輪車貸出し	通年		一般
27	朝のラジオ体操用ラジオ設置	通年		一般
28	第1回ENJOYサッカー教室	4月	96名	一般
29	第1回マリノスサッカースクール1Dayスクール	5月	76名	子ども
30	第2回ENJOYサッカー教室	5月	82名	一般
31	第1回マリノス交流戦U12	6月	66名	一般
32	第2回マリノス交流戦U8	7月	173名	一般
33	横浜FマリノスU10サッカー交流会・指導者講習会	9月	雨天中止	一般
34	第2回マリノスサッカースクール1Dayスクール	9月	111名	子ども
35	第3回ENJOYサッカー教室	10月	77名	一般
36	ふぁんタイム・横浜Fマリノスフットボール公式戦	10月	13名	子ども
37	横浜FマリノスU10サッカー交流戦・指導者講習会	11月	98名	一般
38	第3回マリノス交流戦U6	11月	146名	一般
39	第4回マリノス交流戦U7	12月	160名	一般
No	企画内容	実施期間	人数	対象

No	企画内容	実施期間	人数	対象
40	第4回 ENJOY サッカー教室	1月	70名	一般
41	第3回マリノスサッカースクール 1DAY スクール	1月	39名	子ども
42	第5回マリノス交流戦 U11	2月	雨天中止	一般
43	第6回マリノス交流戦 U11	3月	86名	一般
44	横浜 F・マリノス スペシャルクラス大和	通年		子ども

【事業実施状況に関する補足説明】

- ・提案のあった自主事業数は事業計画より2案が追加提案され、雨天中止を除き実施件数は41件、参加人数は2,753名となりました。
- ・初心者向けのテニス教室などを自主事業に追加することで、新規利用者の確保に繋げることが出来ました。
- ・令和5年度に引き続き、キッチンカーを自主事業の一環として出店するとともに、市や青年会議所主催などの公益性の高いイベントにおいて出店する機会を増やしたことで、利用者に対するサービスの充実を図ることができました。

2. 収支決算概要

(単位：円)

収 入		支 出			
指定管理料 （市が指定管理者に支払った金額）	公	60,748,000	人件費	公	44,256,918
	ス	31,920,000	（指定管理者が雇用した職員の給	ス	23,830,648
	計	92,668,000 (92,475,455)	料、諸手当、福利厚生費等の金額）	計	68,087,566 (63,972,912)
売上及び利用料金収入 （条例に基づき、利用者が指定管理 者に支払った利用料金及び売上）	公	62,511,050	施設管理費	公	84,239,111
	ス	32,893,450	（施設の清掃や、保守点検、修繕に	ス	35,281,449
	計	95,404,500 (96,707,320)	支出した金額）	計	119,520,560 (125,294,328)
収入計（①）	公	123,259,050	支出計（②）	公	128,496,029
	ス	64,813,450		ス	59,112,097
	計	188,072,500 (190,231,614)		計	187,608,126 (189,267,240)

公：公園施設（園地及び仲良しプラザ、駐車場、バーベキュー広場等）の収支

ス：スポーツ施設（芝生グラウンド、テニスコート、大・中規模多目的スポーツ広場等）の収支

計：公園施設とスポーツ施設の合計額

() は、令和5年度決算額

総収支決算 (①－②)	464,374 (964,374)
-------------	----------------------

【収支決算に関する補足説明】

- ・有料施設の利用料金収入は、令和5年度96,707,320円に対し、令和6年度95,404,500円と約1.3%の減収となりました。
- ・指定管理料について、令和5年度と比較すると6年度は192,545円の増となっていますが、令和5年度は大規模多目的スポーツ広場の改修期間中に休場していたことから、その期間分の減が反映されているものです。
- ・売上及び利用料金収入について、園地や有料施設などの利用者が減少傾向となっており、令和5年度より減収となったものです。
- ・施設管理費は、令和5年度125,294,328円に対し令和6年度119,520,560円と約4.6%の支出を縮減することが出来ました。

3. 管理運営に対する評価等

指定管理者の管理運営に対する市の評価は次のとおりです。

評価にあたっては、令和7年7月15日に環境審議会から意見聴取を行いました。

評価の視点1:施設を利用する者に対し、平等な利用の確保及びサービスの向上が図られたか

- ・施設都合による利用のキャンセルが発生した際には、データベース化により還付の対象者に対してスムーズな案内が出来るようになっていました。
- ・駐車場にわかりやすい経路案内看板を明示することで、車で来園された公園利用者がスムーズに帰宅できるよう配慮していました。また、最寄り駅の案内マップや独自に作成したコミバスの時刻表をあわせて配布するなど、公園利用者に寄り添った対応を図っていました。
- ・施設の運用については、仕様書及び事業計画書に沿って適切に行われていました。施設の利用許可事務については、書類及び実地調査の結果、条例等に則り適切に行われていることが確認できていました。

評価の視点2:施設の効用が最大限に発揮された事業運営が行われたか

- ・自主事業のほか、市と関連するイベントにおいてキッチンカーを配置することで利用者に対するサービスの充実を図っていました。
- ・桜の開花が見ごろとなる時期にあわせ、園内の桜がある場所を示したマップを作成して配布することで、大和ゆとりの森をPRしながら集客促進を図っていました。
- ・室内活動については、『七夕』、『お正月遊び』等、親子で楽しめるイベントを開催することで、ファミリー層の利用促進を図っていました。
- ・『みんなで跳ぼうふわふわドーム』のように施設を身近に感じることができる話題性のある自主事業を行うとともに、『水かけまつり』のように、猛暑のなかでも公園利用者が楽しめるような取り組みを行うことで閑散期の集客に努めていました。
- ・施設利用に関するアンケートは、現状やニーズを把握するための基礎資料として役立てられていました。

評価の視点3:施設の適切な維持及び管理が図られたか

- ・日々の巡回により各スポーツ施設における設備の確認を実施しており、損傷等が発見された際には速やかに措置し、その場で修繕出来ないものについては、データベースに登録して計画的に作業を行うなど適切に対応していました。
- ・植栽や施設について、指定管理者が作成した維持管理計画に基づいて、適切に管理することで快適な公園の利用環境を提供するとともに、要望があった際には速やかに対応するなど公園利用者が安心して安全に施設を使用できるよう努めていました。
- ・施設の破損を防ぐため、台風対策チェックリストを作成し、台風の進路状況に応じて事前に予防措置を行っていました。
- ・フラワーオーバーシード工法等の播種方法を活用した花の景観スポットを作成し、芝生地の景観改善を図っていました。
- ・バーベキュー広場に関する消耗品の在庫管理をデータベース化することで効率化を図るとともに、発注時期を可視化するなどによって在庫管理を徹底しており、無駄なくサービスを提供していました。
- ・施設の管理瑕疵による事件、事故等はありませんでしたが、公園内で事件、事故等が発生した時には、緊急連絡ルートに基づいて速やかに関係部署に事故の連絡を行い、事実関係が確認でき次第、報告書を市に提出していました。

評価の視点4:施設の管理を安定して行う人員、資産その他の経営の規模及び能力を有しているか

- ・事業計画に沿って管理体制を整え、担当ごとに必要な人員を配置していました。また、本園での勤続年数が長く園内を熟知している者が所長、副所長として配置されていました。
- ・ほかの公園でも指定管理を実施しており、ノウハウを活用し施設の管理方法や自主事業等の情報交換、接遇教育による人材育成を実施していました。また、都市公園法、大和市個人情報保護条例等、関係法令を遵守しており、本園を経営する規模及び能力を有していると考えられます。